

民生病院常任委員会審査概要報告書

委員長 筏井 哲治

- I 開催年月日 令和 6 年 6 月 25 日（火）
- II 会議時間 午前 10 時 00 分～午前 10 時 58 分
- III 出席委員等 [出席委員] ◎筏井 哲治 ○梅島 清香 山上 尊士
林 貴文 石須 大雄 坂林 永喜
藪中 一夫 曾田 康司 狩野 安郎
(◎…委員長 ○…副委員長)
- [議長] 本田 利麻議長は公務のため欠席
- [副議長] 横田 誠二
- [説明員] 別紙名簿のとおり（福島市民病院長が公務のため、
大野生活環境文化部次長・地域課長が病気療養のため
欠席）
- [委員外議員] なし
- [事務局職員] 高嶋 史恵 島田 輝 堀 泰平
- [傍聴者] 1 名

IV 審査の概要

- 1 消防長から、令和 6 年 6 月 12 日に本市の消防職員が逮捕されたことに関する陳謝があった。今後、警察の捜査に全面的に協力のうえ、厳正に対処すること、また、全消防職員に対し、公私両面において規律ある健全な行動を求めたところであり、市民からの信頼回復に全力で取り組むとの説明があった。

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

2 付託議案について

- 議案第 79 号 令和 6 年度高岡市一般会計補正予算（第 2 号）のうち本委員会所管分
- 議案第 84 号 高岡市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
附則「高岡市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する
条例の一部改正」
- 議案第 85 号 高岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の
一部を改正する条例
- 議案第 86 号 高岡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 議案第 88 号 「富山市、高岡市及び射水市による消防艇の共同運航」に係る富山市

- 及び高岡市における連携協約の締結に関する協議について
- 議案第 89 号 「富山市、高岡市及び射水市による消防艇の共同運航」に係る高岡市
及び射水市における連携協約の締結に関する協議について
- 議案第 92 号 工事請負契約の締結について
(高岡市消防本部・高岡消防署庁舎改築工事)
- 議案第 93 号 工事請負契約の締結について
(高岡市消防本部・高岡消防署庁舎改築電気設備工事)
- 議案第 94 号 工事請負契約の締結について
(高岡市消防本部・高岡消防署庁舎改築機械設備工事)
- 議案第 102 号 財産の取得について
(災害対応特殊救急自動車・高度救命処置用資機材)

及び

- 議案第 104 号 富山県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

以上、予算議案 1 件、条例議案 3 件及びその他議案 7 件の計 11 件については、審査の結果、全会一致で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑等は次のとおり。 〉

(以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示)

【議案第 79 号のうち、児童手当等支給事務費について】

- 児童手当等支給事務費について、令和 6 年 10 月から所得制限の撤廃、高校生年代までの支給期間の延長、多子加算に関して第 3 子以降の支給額を 3 万円とする児童手当制度の拡充が予定されているが、今回の拡充に伴う対象者数の見込みは。また、支給回数が年 6 回に変更となるなどの改正内容について、どのように周知していくのか。
- △ 今回の児童手当制度の拡充に伴い、受給者数は現在より 2,400 人から 2,500 人程度の増加になると想定している。また、実際に手当の支給対象となる児童数は、4,300 人程度の増加と想定している。なお、今回の改正により、高校生年代が初めて支給対象となることから、6 年 8 月下旬頃から順次、対象となる世帯に対し案内を送付して周知したい。
- 今回、大きな制度変更となることから、丁寧な周知をお願いしたい。(要望)

【議案第 79 号のうち、脱炭素先行地域推進事業費について】

- 脱炭素先行地域推進事業費について、E Vカーシェアリング構築業務委託に関して、事業者が自ら収益を上げ、持続可能な新たなビジネスモデルの構築を目指すとのことだが、どの程度の台数が稼働すれば収益を上げられるのか。
- △ 仕様書では、最低台数を 2 台としているが、収益を上げるにはこの台数ではなかなか難しいのではないかと考えている。どのような形で収益を上げるかは、事業者

の裁量に任せており、今後、プロポーザルの提案内容を踏まえて判断していきたい。

【議案第 85 号 高岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について】

- 高岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について、保育所等における満 3 歳以上の児童に係る保育士・保育従事者の配置基準の見直しにより、どのような影響があるのか。
- △ 全国的に保育士・保育従事者のなり手が少ない傾向にあることから、配置基準にかかる経過措置期間を設けている。本市の保育所、認定こども園において、現時点では、改正後の配置基準を満たしていることから、特に影響はないものと考えている。
- 子どもたちの安全な居場所づくりの充実に努めていただきたい。（要望）

【議案第 88 号及び議案第 89 号 「富山市、高岡市及び射水市による消防艇の共同運航」に係る連携協約の締結に関する協議について】

- 「富山市、高岡市及び射水市による消防艇の共同運航」に係る連携協約の締結に関する協議について、消防艇の整備に要する費用は富山市、高岡市及び射水市で負担し、それ以外の費用については、3 市で協議して分担するとしているが、具体的には、どのような費用を想定しているのか。
- △ 消防艇の上架整備や通常の点検整備費用等のほか、出動に要する費用といった維持費等を想定しており、富山市、高岡市及び射水市の 3 市で協議のうえ負担する割合を決定したい。

3 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔生活環境文化部〕

- ・ 地域おこし協力隊員「福岡町地域賑わい創出コーディネーター」の募集開始について

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

〔市民病院〕

- ・ 令和 5 年度高岡市高岡市民病院事業会計決算の概要について

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

【令和 5 年度高岡市高岡市民病院事業会計決算の概要について】

- 令和 5 年度決算では、約 5 億 5,000 万円の純損失を計上して 7 年ぶりに赤字となったが、自治体病院や総合病院の経営の難しさが表れた結果ではないかと思われる。県からの新型コロナウイルス感染症に関する病床確保補助金の減少分が、そのまま

赤字額に反映された形となっているが、今後に向けてどのように経営の立て直しを図っていくのか。

△ 令和4年度決算時から医業収益は減少しており、5年度についても厳しい状況になると見込まれたことから、アイセンターの開設や、地域包括ケア病棟を設置して新たに回復期の入院患者にも対応することで収益の増加を図っていきたい。また、6年度から診療報酬が改定されたため、病院内のワーキンググループでは、診療報酬の取りこぼしのないように、少しでも加算を取れるものは取っていく方針としている。さらに、開業医との連携をより深め、市民病院に患者を多く紹介していただけるように、紹介・逆紹介の推進に努めていきたい。

○ 私事であるが、市民病院には人間ドックなどでお世話になっており、職員の方々には大変親切に対応していただき、個人的に非常に感謝しているので、ぜひ経営の改善に向けて頑張っていたきたい。(要望)

○ 研修医が増加したことに伴い、給与費が増加したとのことだが、研修医の増加の要因は。

△ 研修医の確保は医師の確保と同義語であり、これまでも大学病院には研修医に来ていただけるように、様々な機会を捉えてお願いに伺っているところである。また、市民病院としても研修医の受入プログラムの充実等に取り組んできたことによる成果ではないかと考えている。

○ 最近の医師のニーズに合ってきていることを評価したい。産科を休止したことによる影響は。

△ 産科については、6年4月から大学病院に医師が引き上げるため、実質的には6年度から影響することになる。5年5月に産科を休止することを発表した関係で、分娩数は少しずつ絞ってきており、5年度中から少しずつ産科に係る収益は減少している。

○ 産科が復活できるように努力していただきたい。(要望)

○ 外来患者数が4年度に比べて約1万人減少しているが、アイセンターの開設により、患者数はどの程度回復すると見込んでいるのか。

△ 6年4月からアイセンターを開設しており、眼科の外来、入院患者数ともに増加しており、手術の件数も増加しているところである。

4 閉会中の継続審査について

本委員会の所管事項について、閉会中も継続して調査する必要があるため、会議規則第104条の規定により、委員長から議長に継続審査を申し出ることとした。

5 その他

。次回の本委員会の開催について

令和6年7月23日(火)午前10時に開催することが報告された。

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

【マイナンバーカードの健康保険証利用について】

- 診療報酬の改定に伴い、マイナンバーカードの健康保険証利用の重要性が高まってきたと感じている。受診される方に対してメリットがあり、また、病院側としても質の高い医療の提供に重要な役割を担っていくことになると思っているが、市民病院ではどのように利用の周知をしているのか。また、生活環境文化部とどのように連携しながら、マイナンバーカードの普及につなげていくのか。
- △ 国の方では、令和6年12月2日以降、新規の健康保険証を廃止することとしており、マイナ保険証の利用を推進するため、5月から7月を集中取組月間としている。市民病院では、こうした国の動きに呼応し、5月から医事課の職員が窓口でマイナンバーカードの利用促進に向けて声掛けを行っており、かなりの成果が出ていると考えている。
- △ 生活環境文化部では、市民課において、これまでもオンライン申請や保険証利用など、マイナンバーカード取得のメリットに関して市民の方々に案内しているところである。6年12月2日に保険証廃止という大きなタイミングを迎えることから、マイナンバーカードを保険証として利用いただけるように、引き続き市民の方々に分かりやすく周知を図っていききたい。
- 高岡市がマイナンバーカードの普及に一生懸命取り組んでいることは重々承知している。市民の方々に混乱を招かないように、早めの周知に努めていただきたい。（要望）

【令和6年6月23日の大雨による消防本部の対応について】

- 6年6月23日に発令された大雨警報に対し、本市では、雨水幹線に集中する雨水をポンプで強制的に排水した取組があったと聞いているが、消防本部では今回の大雨においてどのように対応したのか。
- △ 本市消防本部管内では、4件の冠水被害を確認している。当日は大雨の警戒のため消防署隊員が巡回していたが、午後3時頃に伏木錦町地内の冠水現場へ向かった際に、上下水道局と地元の伏木湊分団と協力のうえ、排水作業や土のうを設置して浸水防止を図っている。作業後に伏木湊分団と協議を行い、今後の大雨に備えて土のうの設置場所などについて情報共有を図ったところである。その他の冠水場所においても、消防署隊員が活動を実施している。消防本部としては、今回のような大雨等の災害に備え、今後も関係部局、消防団と連携を図りながら、被害の軽減を図っていききたい。
- 当日は高岡市消防団消防操法大会が開催されており、大変忙しい状況下において尽力いただいたことに対して感謝申し上げたい。（意見）

【令和6年能登半島地震の被災者に対する心のケアについて】

- 6年2月1日に開催された本委員会において、能登半島地震で大きな被害が出ていないエリアの被災者の方々に対する心のケアをお願いしていたところであるが、現在までの対応状況は。
- △ 震災による被害が大きかったところ、比較的小さかったところがあるが、伏木地

区においては、6年1月の伏木校下自治会連絡協議会全体会に伺った上で、19自治会のうち10自治会は保健師が全戸訪問し、9自治会は気になる世帯について連絡があれば保健師が訪問することとしている。1月下旬から2月中旬にかけて実施した全戸訪問終了後のタイミングで、9自治会の自治会長に改めて連絡を行い、気になる世帯として情報があつた3自治会について訪問したところである。また、6年度からは、市社会福祉協議会や市健康づくり推進懇話会と連携、協力を図り、ふれあい・いきいきサロンや筋力アップ教室などの地域住民が集まる場において、保健師が健康相談を実施しながら、地域の方々の声に寄り添い、こうした場に来ることができない方や気になる方の情報があれば、保健師が訪問できる体制を整え、被災者の方々に対する心のケアを続けていきたい。

- 建物やインフラの被害は目に見えるものであるが、心の被害については目に見えないものであることから、今後もしっかりとケアに取り組んでいただきたい。(要望)

〈 当局からの報告はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

民生病院常任委員会 当局説明員（27名）

生活環境文化部長	二 塚 英 克	市民病院長	福 島 亘
生活環境文化部次長 参事	山 本 真 弘	市民病院事務局長	柴 田 文 夫
生活環境文化部次長 地域課長	大 野 洋 靖	総務課長	中 保 哲 憲
市民生活課長	松 本 武 司	医事課長	池 守 凡 子
環境政策課長	室 谷 智		
文化国際課長	吉 本 恭 子	消防長	浦 島 章 浩
男女平等・共同参画課長	竹 内 文 雄	消防本部次長	有 澤 智 文
市民課長	布 橋 みちる	消防本部次長 総務課長	布 橋 隆 男
		予防課長	田 中 秀 和
福祉保健部長	戸 田 龍 太 郎	警防課長	春 日 裕 治
福祉保健部次長	上 森 智 美	通信指令課長	沙 魚 川 文 春
福祉保健部次長 こども家庭センター長	長 谷 川 聡		
社会福祉課長	関 原 総 臣		
社会福祉課 福祉連携推進室長	大 野 美 喜 子		
子ども・子育て課長 保育・幼稚園室長	森 川 朋 子		
長寿福祉課長	徳 市 直 之		
保険年金課長	尾 崎 正 和		
健康増進課長	竹 田 裕 子		